■日本文学科でよくある質問■

（入学時に配布された『履修ガイド』をまず読んでください。Q＆Aもたくさんあります。）

Q１ **【再履修について】**「B い」などのクラス指定のある必修科目の単位を落としてしまい、再履修しなければなりませんが、どのクラスをとればよいですか？

A１ 原則として、単位がとれなかった年次と同じクラスの授業（例えば「B い」）を登録してください。ただし、必修科目や他のとりたい科目と重なる場合は、自分の時間割に合わせて、上記以外のクラスを選択してもかまいません。

なお、1 年次必修科目なら 1 年生と一緒に受講することになりますので、画面上の「配当外」を選択して登録して下さい。

Q２ **【演習について】**セットでとった演習の I だけを落としてしまいました。I だけを取り直せばよいですか？その場合、同じ名前の演習の I でなければなりませんか？他の演習の I や、Ⅱをとることはできないですか？そこに必修の科目が重なっています。

A２ 原則として、同じ科目名の演習（例えば「現代文学演習」）の I だけをとってください。ただし、担当教員は前年度落とした科目と異なってもかまいません。

また、同じ名前の演習の I をとることができない場合は、違う科目名の演習（例えば「日本語学演習」）の I をとっても構いません。それも難しく、演習のⅡをとりたいという場合は、履修相談に来てください。

Q３ **【標準履修単位数について】**自分で登録した単位数が、日本文学科の「標準履修単位数」と異なっていますが大丈夫でしょうか。

A３ 大丈夫です。「標準履修単位数」はあくまでも「めやす」なので、人により多少異なります。学年ごとの必修科目を登録し、4 年間で卒業に必要な科目・単位数が取得できるように計画していけばよいのです。

Q４ **【履修登録単位数の「上限」について】**履修登録単位数の上限以上に、科目を登録することはできないのですか？

A４ 『履修ガイド』にあるとおり、GPA が高い学生には登録数がプラスされます。それ以外の理由では原則として上限を越えての登録はできません。上限を越えて登録しないと 4 年間での卒業ができないなど、事情のある学生は履修相談に来て下さい。

Q５ **【教職科目について】**教職をとっています。教職に関する科目は、すべて履修登録単位数の上限を越えて登録してよいのですよね？

A５ 大丈夫です。教職課程の科目は各学年の履修登録単位数には含まれません。『履修ガイド』の「２学習について」→「大学で学ぶためには」→「１年間の履修登録単位数の上限」に掲載された表（2017 年度入学生用 p.48、2018 年度・2019 年度入学生用 p.52）の下部に、「※諸課程科目及び家政学部の学外実習科目は、この単位に含まれません。」と記されています。